

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和 8年 1月 16日						
		利用児童数 17名				回収数 12		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					スペースは尼崎市の設備基準は満たしている。部屋の中に階段があって狭く感じるが、すべての利用者が職員のすぐ手の届く場所に いる安心感がある。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12				職員紹介のプリントを見ました。 色々な先生がいる事を知りました。	昨年の保護者の意見を取り入れ、今年度は職員紹介のおたよりを配った。普段送迎で会わない職員も紹介できた。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			1		部屋中央の階段がある事で一つの部屋を少し分けて活用する事が出来ている。2Fも活用している。トイレもバリアフリーで2つあり、トイレ介助がしやすい広めのトイレがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					こまめにアルコール消毒を行い、空気清浄機を設置しペーパータオルを使用している。エアコンのフィルターも定期的に掃除している。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				言葉をたくさん教えてもらっている。	理学療法士・公認心理師・保育士・音楽療法士・学校教諭・幼稚園教諭・社会福祉士など、色々な専門的な資格を持った職員がその専門性を生かして計画書を作成し、計画的に専門的支援を行っている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					令和6年度より、職員で協議を行い支援プログラムを作成している。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					今後も保護者様や子どものニーズを分析し、職員の意見を聞き、ひとりひとりにあった個別支援計画書を作成していく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援の内容が5領域を踏まえた適切で具体的な計画項目を設定し、適切な計画書が作成できるよう努力していく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					個別支援計画に沿った支援が出来るよう心掛けていく。必要であれば、短い期間であっても適宜見直しを行っていく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				色々な楽しいイベントをやってもらっていると思います。	毎年新しいイベントも取り入れながら、色々な分野の活動に取り組んでいく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	3	4		今年度は近くの公立の学校に交流の打診まではする事が出来た。今後は地域の介護施設や障害者入居施設、保育園など幅を広げて検討していきたい。
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					今後も継続して、保護者様には運営規定、支援プログラム、利用者負担など丁寧な説明を心掛けていく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					個別支援計画書は5領域も含め、大変細かく項目が分かれている。保護者様には丁寧な説明を心掛けていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10		1	1		家族支援・ペアレントトレーニングは大きな課題であり、未だに実現できていないのが現状。改めて職員で何が出来るのか検討・協議をしていきたい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12				送迎の時、色々お話をして頂いています。	せらびーの子ども達は自分から体調不良を訴える事ができないので、日頃からご家庭との連絡は密に取っており今後も継続していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				面談の時に色々話をしてもらっている。	約半年に1回面談を実施しており、その際悩みや不安などお聞きすることがある。出来る時は助言を行うが、まだスキルが足りない。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					今後も継続して、子ども達一人一人に対して、あるいは保護者の皆様に対して同じ思いを持って共感的に支援していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	2	2	家族向けのイベントで、子どもの成長を見ることが出来て良かった。 きょうだいの方がたくさん参加されて賑やかだった。	今年度は日頃練習してきた接客の様子を保護者様・きょうだいの方を招いて披露する事が出来た。作品・写真展も同時開催、多くはないが保護者様同士の交流も見られて好評だった。今後も企画していきたい。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12					相談や申し入れがあるならいつでも対応できる体制はとっている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				LINEで画像などを送ってもらっています。	連絡帳や電話でお伝えすることが多いが、状況によってはより伝わりやすいようにLINEで写真や動画を保護者に送る場合もある。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11			1	おりーぶちゃんねるをいつも楽しみにしています。	SNSで子ども達の活動の様子や動画を配信している。ホームページには毎年自己評価も載せている。おたよりも活用している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				されていると思う。	特にSNSなどでは個人の特定がされないように画面を加工するなどして配慮している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			2		いつでも事業所でマニュアルを閲覧できるように用意しており、せらびーだよりも概要と閲覧可能を周知している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12				避難訓練はよく行われているようです。	年に2回の火事や震災想定避難訓練に加え、更に水防法による水害想定避難訓練を行っている。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12					「安全だより」を発行して、車の置き去り防止安全装置設置や避難訓練の様子などの情報を写真付きでお知らせしている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12					今まで大きなけがはないものの、てんかん発作の対応や救急搬送時の対応などの対策は行っている。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				とても楽しそうに通っている。	今後も継続して、子ども達が安心感を持って過ごせるよう支援していく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				楽しみにしている。いつも楽しみにしています。	今後も継続して、子ども達が楽しく通ってくれるよう支援していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				満足している。	今後も継続して、せらびーの支援に満足していただけるよう努力していく。